

令和4年5月31日

日本デジタル教科書学会 賛助会員 様
教育関係企業・教育機器 関連各社 様

日本デジタル教科書学会
会長 広瀬 一弥
第11回日本デジタル教科書学会年次大会
京都大会実行委員長 反田 任

**第11回日本デジタル教科書学会年次大会（京都大会）
企業協賛（PR タイム・展示）について（ご依頼）**

拝啓 貴社におかれましては益々ご発展のこととお喜び申し上げます。また、日頃は本学会の活動に対し、ご理解・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。本学会は、「デジタル教科書・教材やそれを活用した実践について、学術的に追究し、我が国の教育のこれからの発展に資すること」を発足の志に掲げ、2012年に設立。これまで研究者、実践者、関係企業の方々が連携し、学術研究を進めてまいりました。この度、2022年度の年次大会を京都大学で行うこととし、「教育DXがもたらす教育の再構築～GIGAスクール時代の学びのあり方～の大会主題のもと、準備を進めております。京都大会では、デジタル教科書・教材の推進、実践、研究活動に携わる研究者と実践者の相互の協力により、タブレット端末等を活用した実践研究を数多く提言していただき、追究していきたいと考えています。

基調講演には、経済産業省 サービス政策課長（兼）教育産業室長（兼）スポーツ産業室長 浅野大介様に「教育DXでつくる未来の教室」と題し、お話しいただきます。また、特別講演には神田外語大学教授 石井雅章様に「STEAM教育の可能性 持続可能な世界のためのリベラルアーツ」と題しお話しいただきます。

つきましては、令和4年8月20日(土)、21日(日)の両日に京都大学で開催する「第11回日本デジタル教科書学会年次大会（京都大会）」において、是非、企業協賛(PR ビデオ配信)のご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

敬具

記

日程・会場

8月20日(土)・21日(日)

京都大学会場：京都大学百周年時計台記念館 +オンライン配信

企業PRビデオ配信の概要

リモートで行われている研究発表や基調講演の前後に1分以下の企業プレゼン等を配信いたします。会場では、配信を視聴できるようにします。プレゼン(ビデオ)については、事前収録して頂き動画ファイルで事前に大会事務局まで送付頂く予定をしています。プレゼンの他、貴社で作成された製品紹介CM等でもかまいません。

展示ブースの概要

企業協賛いただいた方には、PR ビデオ配信に加え、京都大学の会場には企業展示をしていただけるスペースを用意します。展示スペースは、180cm × 60cm のテーブル1台（高さ70cm）、電源を用意します。展示ブース出展は任意とします。

協賛金について

賛助会員 無料

非賛助会員 30,000 円

配信回数、再生見込み回数などの条件について

初めての対面・オンラインのハイブリッド開催でもあり、正確な参加見込み数は設定できませんが、昨年の第10回大会では2日間でのべ300人の参加がありました。

最低配信の回数は、1日目2回 2日目2回の計4回です。発表数や希望される企業数により増やす場合もあります。

配信順につきましては可能な限り公平になるよう配慮致しますので事務局にお任せください。関連発表等があり、ご希望の時間がございましたらご相談ください。（ご希望に添えない場合もございます）

締め切り

申し込み：7月22日（金）まで 動画事前送付：8月5日（金）

その他

本大会は、感染拡大防止の対策を徹底して京都大学にて対面開催をすると共に、すべてをオンライン配信するハイブリッド開催を行う予定です。新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて開催方法を変更せざるをえない場合もありますが、大会1ヶ月前の7/21（水）時点において開催方法を確定させます。

なお、開催日に京都市が緊急事態宣言の対象になると決定し、現地での開催が不可能となった場合には、やむなくオンラインのみの開催へと切り替えざるをえない場合もございます。その際は、展示ブースを設けることができません。あらかじめご了承ください。

申し込み・お問い合わせ先

お申し込み・お問い合わせにつきましては、京都大会実行委員会 渉外担当 広瀬 一弥(亀岡市みらい教育リサーチセンター)までお願いします。

E-mail office2022@js-dt.jp

以上